

世界に誇れる 健康長寿都市を

現在、静岡市では5大構想の一つに「健康長寿のまちの推進」を掲げている。具体的な取り組みの中に「生涯活躍のまち静岡（CCRC）構想」があり、その一つのモデル事業が、葵区中心市街地を活用した「葵おまち地区」だ。



静岡市長 田辺 信宏氏

「官民一体による 「葵おまち地区」

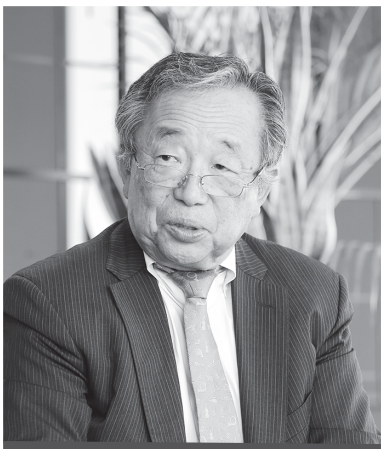
▼田辺市長は市の5大構想の一つに「健康長寿のまちの推進」を掲げています。その

づくりを行っています。静岡市は葵区中心市街地に百貨店や商業施設が林立し、車に頼らずに生活のすべてをまかなえ、コンサートホールのようなエンターテインメントも享受できる世界レベルの都市です。その点でもQOL（生活の質）が高い日常生活を送ることができます。

▼「葵おまち地区」とはどんなエリアですか。川辺 静岡のまちは大変厳しい時代にあつても、商店街に元気があり、多くの方が生活を楽しんでいます。行政や医療機関、公園、商業施設が集結しているコンパクトシティで、中高年層が住む大人の街の中心地が呉服町・七間町・紺屋町を軸とした商店街エリアです。

「街の中心地」 シニアの居住施設誕生」

▼構想のシンボリックな建物として昨年「札の辻クロスビル」が完成しました。川辺 静岡市中心街の再開発事業の一環として、静岡伊勢丹前に13階の高層ビルを建てました。万が一の自然災害時には、避難所になる機能も有しています。上層階にはロングライフホールディング



札の辻ビルマネジメント株式会社
代表取締役 川辺 哲氏

岡市のCCRC構想を知った時の感想は。

遠藤 街中にシニアの居住施設を作るといふ市の着眼点には、得心の思いでした。高齢者の施設は郊外に多い傾向ですが、入居者・家族にとって案外不便なものです。が中心市街地にあれば、都市機能や文化的娯楽も満喫でき、買い物や病院にも困りません。都市機能がそのまま生かせるのです。

私も全国に先駆けて34年前から介護事業に携わってきました。そこで蓄積されたノウハウを生かし、静岡市の活性化にも貢献したいと、この官民体の事業に参画したのです。

田辺 この施設ができたことで、従来の高齢者施設のイメージが、ポジティブに打ち破られたといつても過言ではないで

分化とわかりつけ医、介護サービスの提供者との連携が非常に重要になってきます。超高齢社会の今、シニア世代にとつてかかりつけ医は「一層必要となるでしょう。そんな時、自宅から病院に通院しやすい環境は、非常に重要です。また、近くに総合病院があれば、緊急時や重篤な疾患の際に医療連携で紹介されるので、大きな安心感があります。

▼今後、高齢者が元気で生涯活躍するために心掛けておきたいことは。

磯部 健康とは身体だけでなく、心も元気でなくてはなりません。ご近所や仲間、友人など、人とのコミュニケーションを取ることが大切です。また、社会活動やボランティアなど、アクティブに動くことも生きがいに通じるのでお勧めです。

「おまち」で暮らしす 快適シニアライフ」

▼今後のCCRC構想の展望について、それぞれ立場からお話ください。

川辺 私は楽器店を営んでいますが、加盟している一般社団法人全国楽器協会では、今年からシニア世代向けに「楽器で脳活！」キャンペーンを行っています。楽器演奏が脳を活性化し、認知症の予防にもつながるそうです。そこでクロスホール等で、多くの音楽活動を行っていく予定です。

磯部 江戸時代に徳川家康が大御所政治を行ったこの地は、当時から気候や交通の利便性に優れ、今も変わりません。静岡市の住み心地のよさは、高齢者の心身健康につながる、ベストな環境だと思っています。

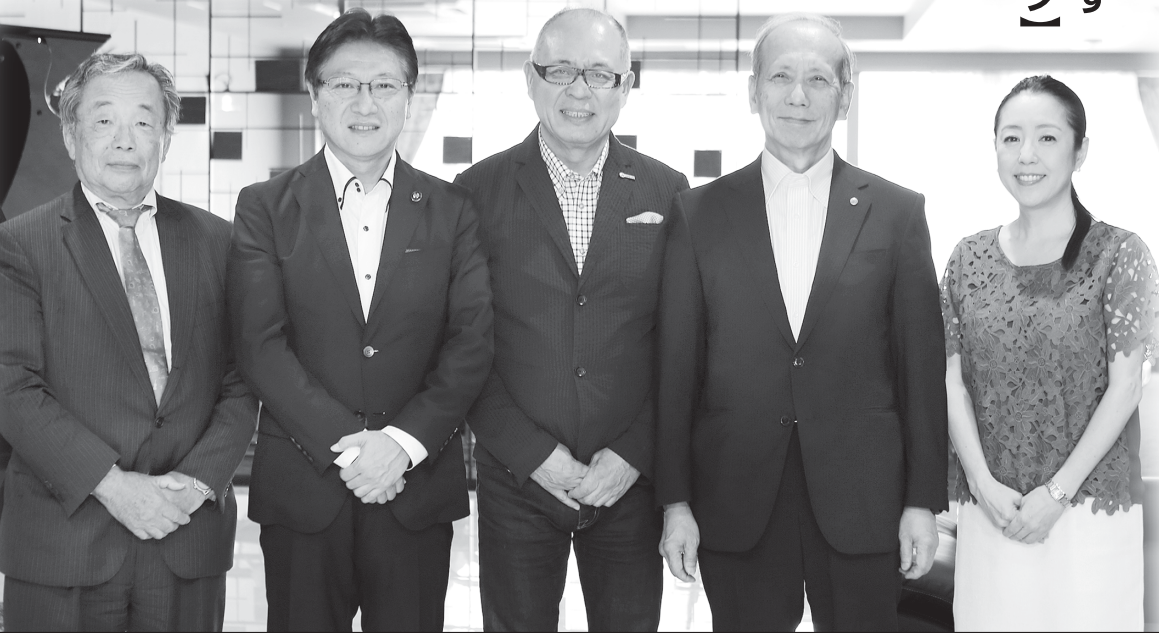
田辺 静岡市は目下、全国に先駆けて認知症予防に力を入れるなど、成熟したシニアライフを提供できるまちづくりを積極的に推し進めています。「健康長寿世界一の都市」を目指して、官民連携の下、取り組んでいきます。

遠藤 私は世界中の高齢者介護の現場



静岡
赤十字病院長 磯部 潔氏

わずか1時間、アクセス至便なこの中心街の「おまち」で、快適なシニアライフを送っていただきたいと思えます。



老いることは、寂しさや不便さに耐えることではありません。円熟したご自分の大切な人生を、存分に楽しむべきなのです。静岡県は「移住したい県のランキング」調査でも常に上位に入るほど、全国的に人気の県です。気候温暖で東京から

実現の核となるのが「生涯活躍のまち」以下、CCRC（構想）ですが、その概略とは。

田辺 静岡市は豊かな自然環境と快適な都市環境の中で、自分の人生を謳歌できる生活環境を提供できる場所です。そこに国の掲げる地方創生の核となるCCRC構想を取り入れました。CCRCとは高齢になっても、日常生活を支える包括的な仕組みがあれば、その場所が生涯の棲家になるという欧米のシルバータウンの発想を日本型にしたものです。つまり介護が必要になっても、その地域に住めば継続的なケアができる環境が整っているということです。



ロングライフホールディング株式会社
代表取締役社長 遠藤 正一氏

さんが運営する有料老人ホーム「ロングライフライオンズ静岡呉服町」、イベントやコンサートを行う「クロスホール」と、路面店も入っています。昨年は歌手の西城秀樹さんの写真展を行い、全国から多くの来場者がありました。

また、静岡赤十字病院と連携した健康セミナー、音楽会、商店街イベントなど、入居者、市民、どなたでも気軽に来られる集客力のある施設を目指しています。楽しい街であると同時に、安心・安全な街にしようということで再開発事業を進めてきました。

▼本県とも縁の深い遠藤社長ですが、静